

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成28年10月号

笑顔と感動の紅葉祭 (スマイルフェス)

去る10月1日(土)に、地域、保護者の皆様、そして卒業生など葛川小中学校にゆかりのある多くの方々にお越しいただき、「笑顔」と「感動」の紅葉祭ができましたことを職員一同大変喜んでおります。



会場の皆さんの温かい眼差しと拍手が、何よりも子どもたちに勇気と元気を与えていただき、演じることに集中でき、力以上のパフォーマンスを見せる子どもたちが何人もいました。「本番に強い子どもたちになったなー。」と思うと、少し目頭が熱くなってきました。「言われたことをまじめにこつこつやる子どもたち」から、「自分たちで考え、創り上げていくことに楽しさや喜びを持てる子どもたち」へ変わりつつあるように感じます。



今年の紅葉祭のテーマは、『スマイルフェス』で、笑顔いっぱい

の楽しい紅葉祭にしようという意気込みが感じられました。

午前中は体育館で小学生の音楽劇「アナとワナと双子の女王」、中学生による「マジックショー」、音楽劇団『てんてこ』の芸術鑑賞が行われました。また、幕間には有志発表として、地域の音楽愛好家によるフォークソング、小学校低学年の合奏、教職員の合唱などもありました。どの発表もこの日のために、練習を積み重ねてきただけあって、会場には大きな拍手が絶えませんでした。そして、首を縦に振る人や隣の人に声を掛け合う人など、その感動の様子が伝わってきました。



午後からは、ふれあいタイム。これは小学5、6年と中学生による合同企画で、1学期から話し合いを持ち、参加者に楽しんでもらおうと工夫を凝ら



した4つのコーナ。(お化け屋敷、もの探しゲーム、的あてビンゴゲーム、ペットクラフト) 午後のひと時を、のんびりと楽しく過ごせたようです。入場に列が出来ている所も見られました。

エンディングでは、小中学生と教職員が星野源、作曲の『SUN』を合奏しました。とても軽快な曲で、演奏を楽しむことが出来ました。



人前で自分を表現する機会を持つことは、子どもたちの成長にとってとても大事なことで、自尊感情を育てることにつながります。運動会や紅葉祭はまさに、子どもを成長させるビッグ・イベントと言えます。

お祭りの終わったあとの後片付けは、だるくてしんどいものなのに、どこからエネルギーが沸くのか、どの子も自ら仕事を見つけて生き生き動いている姿は、この日の最後の感動でした。

<小学生の感想より…一部抜粋>

・私は今年の紅葉祭は、すごく思い出に残りました。劇では少しハプニングもあったけど、楽しく出来たのでよかったです。練習の時よりも、すごくいい劇になったのでよかったです。この紅葉祭で、私が出来たようになったことは、劇でみんなを引っ張ったりしたことで、リーダーになることが出来ました。そして、紅葉祭をしたことによって、何でもプラスに考えられるようになった気がします。

・音楽劇は楽しかったです。見ている人もやっている人も楽しめたと思います。「笑ってくれなかったら、どうしよう!」と思ったけど…。1年生の時からやっているけど、はずかしくて大きな声が出せませんでした。学年が上になると、だんだん慣れてきて恥ずかしさもなくなってきて、今年は大きな声でリラックスして楽しんで出来ました。(そう思うと、今年の1年生はすごいなあと思いました。)

<中学生の感想より…一部抜粋>

最後の紅葉祭でめっちゃ気合い入っていたので、ほんとに楽しかったです。盛り上がりも一番よかったし、



充実した1日になりました。マジックショーでお客さんが笑ってくれたのでうれしかったです。

笑顔あふれるスマイルフェスになったと思います。普段会えない人や懐かしい人にも会うことができ、うれしかったです。…